

≡ プレスリリース ≡

2007年11月20日

株式会社スクウェイブ
社長室 広報担当

株式会社スクウェイブ

ITコストベンチマーク「SLR[®](サービス・レベル・レイティング)」が 世田谷区(東京都)に採用されました

ITマネジメントコンサルティング企業の株式会社スクウェイブ(所在地:東京都世田谷区用賀 4-10-3 代表取締役:黒須豊)が行っているITシステムの業務レベルとコストの妥当性を診断する独自のベンチマークモデル「SLR[®](サービス・レベル・レイティング)」が、世田谷区に採用されました。

スクウェイブでは、2003年より民間の大手企業を対象に、ITコストを可視化し妥当性を診断するSLR[®](サービス・レベル・レイティング)を行い、延べ50社以上の企業に採用されています。現在はサービスの対象を地方自治体にも広げており、これまでに佐賀県・藤沢市(神奈川県)に採用されました。東京23区では世田谷区が初となります。

SLR[®]のベンチマークの対象領域は、企画・戦略など数値化できないものを除き、開発、保守、運用(ホスト系、オープン系)、ネットワーク運用、パソコン/LANの運用、ヘルプデスク運用の7分野。具体的な評価の指標と比較対象となる企業・団体名を公開している点が最大の特徴で、企業・団体が主体的にIT投資の効率性を判断することが可能です。また独自の普遍的なモデルに基づいて行うため、業種やシステム規模にとらわれることなく、地方自治体と民間企業を比較することも可能にしています。

世田谷区は、このSLR[®]を採用することで、民間企業におけるIT資産管理のノウハウを取得し、ITガバナンスの構築に役立てていく意向を示しています。

現在、地方自治体においても予算規模の大きさや不透明なコスト構造などの理由からITの適正化が求められ、また“ITゼネコン”と呼ばれる大手コンピューターメーカーとの関係にも注目が集まっており、透明性を求める声が高まっています。このような状況において、SLR[®]のサービスは先進的なITマネジメントを推進する民間優良企業との比較を元にしたITコストの適正化、および電子自治体化が進む上での方向性を見出すための支援になるものと考えます。

スクウェイブでは、今後も地方自治体に向けてSLR[®]のサービスをさらに広げ、中立的な立場での調査・コンサルティングを行うことで、地方自治体にとって最適なITシステムの構築・運用に貢献していきます。

<本件についての連絡先>

株式会社スクウェイブ 社長室 広報担当 : 荒井 英恵
〒158-0097 東京都世田谷区用賀4-10-3 世田谷ビジネススクエア ヒルズⅡ
TEL 03-5797-5671/FAX 03-5797-5276/Email: hanae.arai@k2wave.com
URL <http://www.k2wave.com>